

校長 田村 嘉則

大沼中学校の新2、3年生の生徒諸君、進級おめでとう。私は、4月1日より本校の校長を仰せつかりました、田村 嘉則と申します。

桜の花が満開を迎え、春の空気が満ちあふれる本日、大沼中学校の新2、3年生の生徒諸君においては、全員が無事に春休みを過ごし、進級できたことを嬉しく思います。本日から令和7年度のⅠ学期が始まります。そこで今日は、2つみなさんに話をします。はじめに、ここにいる新2、3年生の諸君は、昨年度から1つ上の学年に進級したわけです。進級したからには、昨年度までとは違った自分、違った学年の集団になっていなければなりません。そのためには、志を持ち、これまでの自分を超越しようとがんばり、努力をしなければなりません。部活動の練習などが分かりやすい例ですが、「苦しい」「辛い」「もうやめたい」と思うこともあります。そう思うのは、今までの自分を超越しようとがんばっている証拠なのです。苦しくも辛くもない者は、立ち止まり成長が止まっているからです。私は本校の生徒諸君には、優しく、強く、そして、しなやかに生きる人になって欲しいと願っています。柳の木の枝のように、そよ風によくなびき、どんなに強い風に吹かれても決して折れてしまうことのない人です。本校での3年間に及ぶ学校生活を通して、ぜひ、優しく、強く、そして、しなやかな人間性を身に付けてください。

2つ目です。大沼中学校を、「誰もが安心して過ごせる、楽しく安全な学校」にしてみたい。ここで大切なのは、「誰もが」ということです。「誰かが」ではなく、「誰もが」です。全校生徒614名の「誰もが」安心して楽しく過ごすためには、どんなことをみんなが意識して過ごせばよいのでしょうか…？それは、1人1人が自分を大切にすると同時に仲間を大切にすることを考えることから始まります。自分が大切にされたいのなら、自分を認めてもらいたいのであれば、同じように周りの人を大切にしなければなりません。自分を大切にすると同時に、このかけがえのない仲間を大切にしていって下さい。さらに、困ったときや悩んだとき、そして勉強が分からなくなったときに、仲間や先生方に相談したり、助けを求めたり、教えてもらうことを頼むことのできる人であってほしいと思います。一人で悩んだり、意地を張ったりすることをせず、素直に助けを求めることのできる人であってください。強くてしなやかな人は、自分の弱さを認めたり、助けを求めたりすることのできる人なのです。

4月、春の空気を全身に感じ、生徒諸君一人一人が今、心に抱いている、新鮮でやる気に満ちた気持ちを大切にして下さい。今まで過去にどんなことがあったかなんて関係ありません。本校の先生方は、それぞれのキャラクターでみなさん一人一人を全力で応援します。今日から、今ここから、新しい自分が始まるのです。気持ちを前向きに、大沼中学校で思い切り青春して下さい。

令和7年4月8日 春日部市立大沼中学校長